

特別号

～年長ごっこ遊び～

どんなお店にするか学年で話し合い、子どもたちの身近にあるショッピングモールをテーマに5つのお店を出店することにしました。お店ごとにどんな商品がありどんな素材でどのように作るのかを話し合って作り始めました。活動を進める中で、子どもたちの様子や進行状況に合わせてその都度、グループや学年全体で話し合いの場を設け、意見を出し合いました。他のお店の友達からアドバイスをもらい新しいことに気付いたり、自分とは違う考えを受け入れたりして試行錯誤しながら進めていきました。協同的な遊びを進めていく中で、思いやったり、よさを認め合ったり、困難を解決したりしながら共通の目的を実現させていく楽しさや満足感を味わえるようになってきました。協力して物事を進めていく『協調性』は就学に向けて育てたい力の一つです。



雑貨屋さん



メガネ屋さん



洋服屋さん



かばん屋さん



ぬいぐるみ屋さん

どのメガネにしますか？



当日は、他学年のお客さんがたくさん遊びに来てくれました。自分よりも小さなお客さんを目の前にすると、「この色のカチューシャが似合いそうだね～」「この服とスカートの組み合わせはどうですか？」「かばんをかけてあげるよ」など店員になりきり、その状況に合わせてながらやりとりを楽しんでいました。また、お店の友達と「私がレジを担当するね」「じゃ、私はおススメの商品を案内するね」など、役割を分担することで協力しながら運営する楽しさを感じていました。ただ、店にお客を呼ぶための声かけだけでなく、相手のことを思ったり様子に合わせて話すことを大切にしてくれました。思いやりの心あふれる素敵なお店ごっこ遊びになりました。